06　養　　護

注意事項

1　試験時間は、60分です。
2　この問題用紙は全部で21ページあります。確かめてください。
3　係員の指示に従い、答案用紙の所定の欄に、必要事項をはっきりと書いてください。
4　答えはすべて、答案用紙の解答欄の解答番号をはっきりとわかるようにマークしてください。
5　質問がある場合は、だまって手をあげてください。（ただし、内容についての質問は受けません。）
6　試験終了の合図があったら、係員の指示に従ってください。

※この問題用紙は、お持ち帰りいただいても結構です。

問題番号は、No.1 ～No.50 。

1　次の（　①　）～（　⑥　）に入る語句として正しいものを、下の1～4の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

(1)　学校保健安全法　第4条　No.1

学校の設置者は、その設置する学校の児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、当該学校の施設及び設備並びに（　①　）体制の整備充実その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

1　安全管理　　2　保健管理　　3　学校運営　　4　管理運営

(2)　学校保健安全法施行規則　第6条　No.2

第六条　法第十三条第一項の健康診断における検査の項目は、次のとおりとする。

一　身長及び体重
二　栄養状態
三　脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態
四　視力及び聴力
五　眼の疾病及び異常の有無
六　耳鼻咽頭疾患及び皮膚疾患の有無
七　歯及び口腔の疾病及び異常の有無
八　結核の有無
九　心臓の疾病及び異常の有無
十　尿
十一　その他の疾病及び異常の有無

2　前項各号に掲げるもののほか、（　②　）及び肺活量、背筋力、握力等の機能を、検査の項目に加えることができる。

1　腹囲　　2　胴囲　　3　胸囲　　4　座高

(3)　児童虐待の防止等に関する法律　第6条　No.3

児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する（　③　）若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する（　③　）若しくは児童相談所に通告しなければならない。

1　警察署　　2　教育委員会　　3　福祉事務所　　4　保健所

(4)　学校教育法施行規則　第1条　No.4

学校には、その学校の目的を実現するために必要な校地、校舎、校具、運動場、図書館又は図書室、（　④　）その他の設備を設けなければならない。

1　職員室　　2　体育館　　3　昇降口　　4　保健室

(5) 学校保健安全法　第24条　No.5

地方公共団体は、その設置する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒が、感染性又は（　⑤　）に支障を生ずるおそれのある疾病で政令で定めるものにかかり、学校において治療の指示を受けたときは、当該児童又は生徒の保護者で次の各号のいずれかに該当するものに対して、その疾病の治療のための医療に要する費用について必要な援助を行うものとする。

一　生活保護法（昭和二十五年法律第百四十四号）第六条第二項に規定する要保護者

二　生活保護法第六条第二項に規定する要保護者に準ずる程度に困窮している者で政令で定めるもの

1　学習　　2　通学　　3　活動　　4　健康

(6) 学校教育の情報化の推進に関する法律　第３条　No.6

6　学校教育の情報化の推進は、児童生徒による情報通信技術の利用が児童生徒の健康、（　⑥　）等に及ぼす影響に十分配慮して行われなければならない。

1　安全　　2　人間関係　　3　生活　　4　体力

2　次の条文が記されている法令を、下の１～４の中から１つ選びなさい。No.7

第八条　法第二十四条の政令で定める疾病は、次に掲げるものとする。

一　トラコーマ及び結膜炎

二　白癬（せん）、疥癬（かいせん）及び膿痂疹（のうかしん）

三　中耳炎

四　慢性副鼻腔（くう）炎及びアデノイド

五　齲歯（う）

六　寄生虫病（虫卵保有を含む。）

1　学校保健安全法　　2　学校保健安全法施行令

3　学校保健安全法施行規則　　4　学校教育法施行規則

3　次は、「独立行政法人日本スポーツ振興センター法　第３条」の全文です。（　①　）、（　②　）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。No.8

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「センター」という。）は、スポーツの振興及び児童、生徒、学生又は幼児（以下「児童生徒等」という。）の健康の保持増進を図るため、その設置するスポーツ施設の（　①　）かつ効率的な運営、スポーツの振興のために必要な援助、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校、幼稚園、幼保連携型認定こども園又は専修学校（高等課程に係るものに限る。）（第十五条第一項第八号を除き、以下「学校」と総称する。）の管理下における児童生徒等の災害に関する必要な給付その他スポーツ及び児童生徒等の健康の保持増進に関する調査研究並びに資料の収集及び提供等を行い、もって（　②　）の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

1　①　適切　　②　国民　　2　①　適切　　②　子供

3　①　安全　　②　国民　　4　①　安全　　②　子供

4　次は、「いじめ防止対策推進法　第15条」の全文です。（　①　）～（　③　）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.9

> 学校の設置者及びその設置する学校は、児童等の（　①　）と道徳心を培い、心の通う対人交流の能力の素地を養うことがいじめの防止に資することを踏まえ、全ての教育活動を通じた道徳教育及び（　②　）等の充実を図らなければならない。
>
> 2　学校の設置者及びその設置する学校は、当該学校におけるいじめを防止するため、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民その他の関係者との連携を図りつつ、いじめの防止に資する活動であって当該学校に在籍する児童等が（　③　）に行うものに対する支援、当該学校に在籍する児童等及びその保護者並びに当該学校の教職員に対するいじめを防止することの重要性に関する理解を深めるための啓発その他必要な措置を講ずるものとする。

1　①　豊かな人間性　②　人権教育　③　自主的
2　①　豊かな人間性　②　体験活動　③　協働的
3　①　豊かな情操　②　体験活動　③　自主的
4　①　豊かな情操　②　人権教育　③　協働的

5　次は、「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成30年度改訂版］」（平成30年５月　文部科学省）に示されている「第Ⅱ章　学校環境衛生基準　第１　教室等の環境に係る学校環境衛生基準　２　採光及び照明　(11)　まぶしさ」をまとめたものです。（　①　）～（　④　）に入る数字や語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.10

基準	(ｱ)児童生徒等から見て、黒板の外側（　①　）以内の範囲に輝きの強い（　②　）（昼光の場合は窓）がないこと。 (ｲ)見え方を妨害するような（　③　）が、黒板面及び机上面にないこと。 (ｳ)見え方を妨害するような電灯や明るい窓等が、テレビ及びコンピュータ等の画面に映じていないこと。
検査回数	毎学年（　④　）回定期

1　①　45°　②　光源　③　光沢　④　2
2　①　45°　②　光沢　③　光源　④　1
3　①　15°　②　光沢　③　光源　④　1
4　①　15°　②　光源　③　光沢　④　2

6　「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成30年度改訂版］」（平成30年５月　文部科学省）の「第Ⅱ章　学校環境衛生基準　第４　水泳プールに係る学校環境衛生基準　１　水質　(3)　大腸菌」に示されている事後措置の内容として正しいものを、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.11

1　大腸菌が検出された場合は、プールの使用を中止し、水を全て入れ替え、塩素消毒を強化する。
2　塩素消毒の強化は、遊離残留塩素の濃度を２～３mg/L程度に上げて循環ろ過装置を運転しながら行う。
3　塩素消毒の強化後、0.2mg/L以上1.0mg/L以下の遊離残留塩素が確認できてから大腸菌の再検査を行う。
4　大腸菌が検出されないことを２日連続して確認できた場合にプールの再開を認める。

7　次は、「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援　～養護教諭の役割を中心として～」（平成29年３月　文部科学省）の「第１章　児童生徒の心身の健康の保持増進に向けた取組」に示されている内容として下線部が**誤っているもの**を、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.12

> 養護教諭は、児童生徒が生涯にわたって健康な生活を送るために必要な力を育成するために、教職員や①家庭・地域と連携しつつ、日常的に、「②心身の健康に関する知識・技能」「自己有用感・自己肯定感（自尊感情）」「自ら意思決定・③行動選択する力」「④課題を把握する力」を育成する取組を実施する。

1　①　　2　②　　3　③　　4　④

8　「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き」（令和２年６月改訂版　文部科学省）に示されている内容として正しいものを、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.13

1　学校において作成または取得した虐待に関する個人の記録は、各学校に適用される個人情報の保護に関する法令に基づき適切に取り扱われる。

2　幼児児童生徒の負った外傷の原因が不明確なため保護者に確認する場合は、「お子さんは○○○と言っていました」と保護者に伝え、確認する。

3　本人からの詳しい聞き取りは学校関係者が対応する方が望ましく、児童相談所職員や市町村職員などはあまり踏み込んだ聴取や度重なる質問はしないほうがよいと考えられる。

4　担任や養護教諭などによって子供から聞き取りを行う際は、子供が返答しやすいよう「はい」「いいえ」で答えられる形式のみで尋ねる。

9　「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」（平成21年３月　文部科学省）の「第２章　自殺のサインと対応　４　対応の原則」に示されている内容として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.14

1　言葉に出して心配していることを伝える。

2　絶望的な気持ちを傾聴する。

3　安全を確保する。

4　「死にたい」という気持ちについては、尋ねない。

10　次は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月　日本学校保健会）に示されている「第１章　学校における健康相談と保健指導の基本的な理解　３　学校における健康相談の基本的理解」の一部です。（　①　）～（　③　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.15

> 養護教諭の職務については、中教審答申において、保健管理、保健教育、健康相談、（　①　）、保健組織活動の５項目に整理されている。健康相談が特出されていることは、単に個々の児童生徒の健康管理に留まらず、（　②　）を育むなど児童生徒の（　③　）に大きく寄与しており、養護教諭の職務の中でも大きな位置を占めているとともに期待されている役割でもあるからである。

1　①　保健室経営　　②　自己解決能力　　③　健全な発育発達
2　①　救急処置　　②　自己肯定感　　③　健全な発育発達
3　①　保健室経営　　②　自己肯定感　　③　良好な人間関係づくり
4　①　救急処置　　②　自己解決能力　　③　良好な人間関係づくり

11　次は、「保健室経営計画作成の手引　平成26年度改訂」（平成27年３月　日本学校保健会）に示されている「３　保健室経営計画の作成」をまとめたものです。(1)～(4)の内容の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.16

> (1)　保健室経営計画は当該学校の教育目標および学級経営案を受け、その具現化を図るために作成される。
> (2)　保健室経営計画は、保健室の経営において達成されるべき目標を立て、計画的・組織的に運営するために作成される。
> (3)　保健室経営計画は、学校経営の評価に位置付け、評価を実施する。
> (4)　保健室経営計画は、学校保健計画を踏まえた上で、養護教諭が中心となって取り組む計画である。

1　(1)　○　(2)　×　(3)　○　(4)　×　　2　(1)　×　(2)　○　(3)　×　(4)　○
3　(1)　○　(2)　×　(3)　×　(4)　○　　4　(1)　×　(2)　○　(3)　○　(4)　×

12　「子どもの心のケアのために－災害や事件・事故発生時を中心に－」（平成22年７月　文部科学省）の「第２章　子どもの心のケアの体制づくり　１　心のケアの体制づくり　(4)心の健康問題の対応における教職員等の役割」に「養護教諭の役割のポイント」として示されているものを、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.17

1　心の健康問題の対応に当たってリーダーシップをとる。
2　校内組織（教育相談部等）が有効に機能できるように体制の整備を図る。
3　学校保健活動が円滑に行えるように総合的な学校保健計画の策定を行う。
4　医学的な情報を教職員等に提供する。

13　次は、「学校における子供の心のケア－サインを見逃さないために－」（平成26年３月　文部科学省）の「第２章　心のケアの進め方　１　心のケアの基本　(3)　健康相談における保護者との連携　②保護者との健康相談の流れ　1)保護者との健康相談の留意点」に示されている内容です。(1)～(4)の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.18

(1)　「心のケア」が話題となる面接に対しては、保護者は抵抗感を持つことが考えられるので、それを踏まえた面接を行うこと。
(2)　保護者との健康相談の目的は、家庭における子供の情報を聞き取って学校での様子と比較することであり、保護者の不安や学校への要望などを把握することではない。
(3)　保護者が語る家庭での子供の状況と、学校での状況が異なる場合は、家庭の問題や家族の甘やかしがあることを念頭におくこと。
(4)　その場だけで解決しない場合には、学校内のチームで対応を検討して答えたいということを伝えて次につなぐ。

1　(1)　○　(2)　×　(3)　○　(4)　×　　2　(1)　○　(2)　×　(3)　×　(4)　○
3　(1)　×　(2)　○　(3)　○　(4)　×　　4　(1)　×　(2)　○　(3)　×　(4)　○

14　「学校における子供の心のケア－サインを見逃さないために－」（平成26年３月　文部科学省）の「第３章　メンタルヘルスの理解を深めるために　１　危機状況におけるトラウマ　(4)　障害のある子供への留意点」に示されている内容として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.19

1　災害がもたらした状況が同じであれば、体験の仕方は子供によって違いはなく、トラウマの形成のされ方も同じである。
2　てんかんの既往がある場合、睡眠覚醒リズムの乱れで発作を起こしやすくなる。
3　知的障害があると、例えば被災の影響で夜間に停電が起きた時、突然暗闇が生じた経緯が理解しづらくなり、強い恐怖と混乱が生じ、暗闇に襲われた体験自体がトラウマとなりがちである。
4　統合失調症や双極性障害（そううつ病）などの精神疾患にり患している子供は、被災のストレスによって症状が悪化するか再発しやすくなる。

15　次は、「生徒指導提要」（令和４年12月　文部科学省）に示されている「第８章　自殺　留意点」の一部です。（　①　）～（　④　）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。

No.20

> 自殺予防を生徒指導の観点から捉えると、安全・安心な学校環境を整え、全ての児童生徒を対象に「未来を生きぬく力」を身に付けるように働きかける「命の教育」などは、（　①　）的生徒指導と言えます。「SOSの出し方に関する教育を含む自殺予防教育」は課題未然防止教育として位置付けることができます。自殺予防教育の目標は、児童生徒が、自他の「（　②　）力」と「（　③　）力」を身に付けることの二点です。さらに、教職員が自殺の危険が高まった児童生徒に早期に気付き関わる課題早期発見対応と、専門家と連携して危機介入を行うことにより水際で自殺を防いだり、自殺が起きてしまった後の心のケアを行ったりする（　④　）的生徒指導から、学校における自殺予防は成り立ちます。

1	①	発達支持	②	心の危機に気付く	③	相談する	④ 困難課題対応
2	①	課題予防	②	心の健康を増進する	③	ストレス対応	④ 困難課題対応
3	①	発達支持	②	心の危機に気付く	③	ストレス対応	④ 危機対応
4	①	課題予防	②	心の健康を増進する	③	相談する	④ 危機対応

16　「令和４年版自殺対策白書」（令和４年10月　厚生労働省）の「第２章　自殺対策の基本的な枠組みと新型コロナウイルス感染症の感染拡大下の自殺の動向等の分析　第３節　学生・生徒等の自殺の分析　１　学生・生徒等の自殺の実態　(4)　学生・生徒等の自殺の原因・動機」に示されている内容として**誤っているもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.21

1　自殺の原因・動機において、「小学生」及び「中学生」では、不詳の割合が高く、特に男子は女子よりもその割合が高くなっている。

2　自殺の原因・動機において、「中学生」では、不詳を除くと「家庭問題」を原因・動機とする割合が高く、続いて「学校問題」の割合が高い。

3　自殺の原因・動機において、「高校生」では、男子は「学校問題」を原因・動機とする割合が最も高い。不詳を除くと、続いて「健康問題」の割合が高い。

4　自殺の原因・動機において、「高校生」では、女子は「健康問題」を原因・動機とする割合が最も高く、次いで「学校問題」の割合が高い。

17　次は、「生徒指導提要」（令和４年12月　文部科学省）に示されている「第13章　多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導　13.3.3　生徒指導における健康課題への対応と関わり」の一部です。下線部が**誤っているもの**を、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.22

> 養護教諭は職務の特質から、児童生徒の身体的不調から背景にあるものにいち早く気付くことのできる立場にあることや、健康相談においても重要な役割を果たしていることなどから、生徒指導面でも重要な役割を担っていると指摘されています。つまり、児童生徒の心身の状況についての問題の①発見者・情報収集者（アセスメント）、②予防的・治療的相談者（カウンセリング）、学級・ホームルーム担任や保護者への③指導者（ガイダンス）、専門機関の紹介や援助資源の④連絡調整役（コーディネーション）など幅広い役割の担い手であるということです。

1　①　　2　②　　3　③　　4　④

18　「学校給食における食物アレルギー対応指針」（平成27年３月　文部科学省）に示されている、「学校給食における食物アレルギー対応の大原則」として**誤っているもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.23

1　食物アレルギーを有する児童生徒にも、給食を提供する。そのためにも、安全性を最優先とする。
2　食物アレルギー対応委員会等により組織的に行う。
3　「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に基づき、医師の診断による「学校生活管理指導表」と血液検査結果の提出を必須とする。
4　安全性確保のため、原因食物の完全除去対応（提供するかしないか）を原則とする。

19　次は、「興味をもって取り組める医薬品の教育　小・中・高等学校での実践事例集」（平成31年３月　日本学校保健会）に示されている「知って得する医薬品の知識」をまとめたものです。(1)～(4)の内容の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.24

> (1)　医療用医薬品とは、患者の症状・体質に合わせて、医師や歯科医師が処方するものである。
> (2)　栄養機能食品とは、表示されている効果や安全性について国に許可された食品である。
> (3)　特定保健用食品とは、表示されている効果や安全性について国に届出された食品である。
> (4)　医薬部外品とは、吐き気などの不快感や口臭・体臭の防止などを目的とするもので、人体に対する作用が緩やかなものである。

1　(1) ○　(2) ×　(3) ○　(4) ×　　2　(1) ○　(2) ×　(3) ×　(4) ○
3　(1) ×　(2) ○　(3) ×　(4) ○　　4　(1) ×　(2) ○　(3) ○　(4) ×

20 「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（平成27年８月　日本学校保健会）の「第１章　児童、生徒、学生及び幼児の健康診断の実施　５　方法及び技術的基準　２　体重」に示されている内容として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.25

1　肥満度は、「肥満度＝（実測体重－身長別標準体重）／身長別標準体重×100（%）」で求める。

2　体重は大きく体脂肪重量と除体脂肪重量に分けることができる。除体脂肪重量は貯蔵エネルギーの量を意味しているが、これが異常に増加すると肥満といわれる状態になる。

3　健康診断時にやせ型の児童生徒等をみた場合は、「児童生徒等の虐待」を心にとめて観察する必要がある。

4　思春期にみられる体重の急激な増加は思春期成長促進現象であって、身長と同じく女子の方が男子よりも２年ほど早く始まり、早く終わる。

21 「子供の運動器の健康　学校における運動器検診の手引」（令和４年２月　日本学校保健会）の「Ⅵ　運動器検診の際の留意ポイント」に示されている内容として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.26

1　背骨が曲がっている。

2　腰を曲げたり、反らしたりすると痛みがある。

3　膝に痛みや動きの悪いところがある。

4　片脚立ちが10秒以上できない。

22　次は、「学校において予防すべき感染症の解説」（平成30年３月　日本学校保健会）の「Ⅱ　学校における感染症への対応　２．学校における感染症への対応　2)出席停止と臨時休業」をまとめたものです。下線部①～③の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.27

> 学校保健安全法には、学校における感染症の予防に関する規定があり、その主となるものは、出席停止と臨時休業である。その目的は、感染症の拡大防止にある。
>
> ①校長は、学校において予防すべき感染症にかかっている、かかっている疑いがある、又はかかるおそれのある児童生徒等に対して、出席を停止することができる。また、②校長は、感染症の予防上必要があるときは、学校の全部又は一部の休業を行うことができる。
>
> ③校長は、出席停止が行われた場合や学校の休業を行った場合は、保健所に連絡しなければならない。

1　①　○　②　×　③　×　　2　①　○　②　×　③　○

3　①　×　②　○　③　○　　4　①　×　②　○　③　×

23 「学校において予防すべき感染症の解説」（平成30年３月　日本学校保健会）の「Ⅲ　感染症各論　２．第二種の感染症　1)インフルエンザ」に示されている内容として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.28

1　合併症として、肺炎、脳症、中耳炎、心筋炎、筋炎などがある。特に幼児、高齢者などが重症になりやすい。

2　鼻咽頭ぬぐい液を用いた抗原の迅速診断キットがあり、発症日が最も検出率に優れている。

3　病原体は、インフルエンザウイルスＡ（Ｈ３Ｎ２）（Ａ香港型）、Ｂ型のほか、2009年に世界的流行（パンデミック）を起こしたＡ（Ｈ１Ｎ１）pdm09がある。

4　感染期間は、発熱１日前から３日目をピークとして７日目頃までであるが、低年齢患児では長引くという報告がある。

24　次は、「喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料－令和元年度改訂－　小学校編」（令和２年３月　日本学校保健会）の「参考資料　Ⅱ　喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響　３　薬物乱用の健康への影響って？」をまとめたものです。下線部が**誤っているもの**を、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.29

「薬物乱用」は、薬物等の物質を①社会的許容から逸脱した目的や方法で自己使用することです。覚醒剤や大麻などの違法薬物の使用は、法に反しており「乱用」です。未成年者の喫煙や飲酒も同様です。「薬物依存」は、薬物乱用の繰り返しの結果、その薬物の使用に対する②自己コントロールを失った状態を言います。

「薬物中毒」とは、薬物による健康被害のことを指し、「急性中毒」と「慢性中毒」に分けられます。「急性中毒」とは、③「依存」することで陥る可能性のある一過性の病態のことです。「慢性中毒」とは、「依存」に陥っている人が、その薬物の使用をさらに繰り返すことによって生じる人体の慢性・持続性の異常状態のことです。依存に基づく飲酒による肝硬変、依存に基づく喫煙による肺癌は④「慢性中毒」と言えます。

1　①　　2　②　　3　③　　4　④

25　次は、「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり　令和元年度改訂」（令和２年２月　日本学校保健会）の「第２章　歯・口の健康づくりの理論と基礎知識　第６節　歯・口の機能に関わる病気や症状とその予防」をまとめたものです。症状の説明として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。

No.30

	症状	説明
1	開咬（こう）	上顎の左右中切歯に隙間（６㎜以上）あるもの。一般に「すきっ歯」と呼ばれる。
2	上顎前突	上顎前歯が下顎前歯に対して大きく前方に突出している（７～８㎜以上）。
3	下顎前突	下顎の前歯が上顎の前歯より前方で噛（か）み合っており、２歯以上この状態であると下顎前突としている。
4	叢生（そう）	隣同士の歯が互いに歯の幅の１/４以上重なり合っていて、いわゆる「乱ぐい歯」と呼ばれる。

26　次は、「がん教育推進のための教材（令和３年３月一部改訂）」（令和３年３月　文部科学省）の「２　我が国におけるがんの現状」をまとめたものです。(1)～(4)の内容の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.31

(1)　2018年では、「がん」は心疾患、脳血管疾患に次いで日本人の死因の第３位となっている。
(2)　現在、日本人の二人に一人は、一生のうちに何らかのがんにかかると推計されている。
(3)　日本人の死因の約五割はがんである。
(4)　がんの罹患率は、生涯では、性別で見ると、男性のほうが女性より多くなっている。

1　(1) ○　(2) ×　(3) ×　(4) ○　　2　(1) ×　(2) ○　(3) ×　(4) ○
3　(1) ×　(2) ○　(3) ○　(4) ×　　4　(1) ○　(2) ○　(3) ×　(4) ×

27　次は、小学校学習指導要領（平成29年告示）「第２章　各教科　第９節　体育　第２　各学年の目標及び内容〔第５学年及び第６学年〕　２　内容　G　保健」の一部です。（　①　）～（　③　）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.32

(3)　病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　病気の予防について理解すること。
(ア)　病気は，病原体，体の抵抗力，生活行動，（　①　）が関わりあって起こること。
(イ)　病原体が主な要因となって起こる病気の予防には，病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。
(ウ)　生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には，適切な運動，栄養の偏りのない食事をとること，（　②　）を保つことなど，望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。
(エ)　喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となること。
(オ)　地域では，（　③　）様々な活動が行われていること。

1　①　環境　　②　睡眠の質　　③　保健に関わる
2　①　年齢　　②　睡眠の質　　③　福祉に関わる
3　①　年齢　　②　口腔の衛生　　③　福祉に関わる
4　①　環境　　②　口腔の衛生　　③　保健に関わる

28　次は、中学校学習指導要領（平成29年告示）「第２章　各教科　第７節　保健体育　第２　各学年の目標及び内容〔保健分野〕　２　内容」の一部です。（　①　）～（　④　）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.33

> (4)　健康と環境について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
>
> ア　健康と環境について理解を深めること。
>
> (ｱ)　身体には，環境に対してある程度まで（　①　）があること。身体の（　①　）を超えた環境は，健康に影響を及ぼすことがあること。また，快適で能率のよい生活を送るための温度，湿度や明るさには一定の範囲があること。
>
> (ｲ)　飲料水や空気は，健康と密接な関わりがあること。また，飲料水や空気を（　②　）に保つには，（　③　）管理する必要があること。
>
> (ｳ)　人間の生活によって生じた（　④　）は，環境の保全に十分配慮し，環境を汚染しないように（　②　）に処理する必要があること。

1	①	適応能力	②	計画的	③	厳格に	④　廃棄物
2	①	至適能力	②	衛生的	③	厳格に	④　汚染物質
3	①	適応能力	②	衛生的	③	基準に適合するよう	④　廃棄物
4	①	至適能力	②	計画的	③	基準に適合するよう	④　汚染物質

29　次は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編「第２章　保健体育科の目標及び内容　第２節　各分野の目標及び内容〔保健分野〕　３　内容の取扱い」の一部として、下線部が**誤っているもの**の組み合わせを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.34

> 指導に当たっては，生徒の内容への興味・関心を高めたり，思考を深めたりする①発問を工夫すること，自他の日常生活に関連が深い教材･教具を活用すること，事例などを用いたディスカッション，ブレインストーミング，心肺蘇生法などの実習，実験，課題学習などを取り入れること，また，必要に応じてコンピュータ等を活用すること，学校や地域の実情に応じて，②保健・医療機関等の参画を推進すること，必要に応じて養護教諭や栄養教諭，学校栄養職員などとの連携・協力を推進することなど，多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものである。
>
> 実習を取り入れる際には，応急手当の技能の習得だけでなく，③扱う器具の名称や手順など，該当する指導内容を理解できるようにすることに留意する必要がある。
>
> また，実験を取り入れるねらいは，実験の方法を習得することではなく，内容について仮説を設定し，これを検証したり，解決したりするという実証的な問題解決を自ら行う活動を重視し，④実感を伴った知識といった指導内容を理解できるようにすることに主眼を置くことが大切である。

1　②，③　　2　①，③　　3　①，④　　4　③，④

30　次は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　保健体育編　体育編「第２章　保健体育科の目標及び内容　第２節　各科目の目標及び内容　「保健」　３　内容」の一部です。（　①　）～（　④　）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.35

> ア　知識
>
> (ｱ)　健康の考え方
>
> ㋐　国民の健康課題
>
> 国民の健康課題について，我が国の死亡率，受療率，平均寿命，（　①　）など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする。その際，（　②　），生活習慣病，感染症，精神疾患及び少子高齢社会における健康課題等があることについて触れるようにする。また，健康水準，及び疾病構造の変化には，（　③　），及び（　④　）を含む社会の状況が関わっていることについて理解できるようにする。

1　①　平均余命　②　がん　③　科学技術の発達　④　生活習慣や人口構成
2　①　健康寿命　②　脳卒中　③　医療機器の進歩　④　生活習慣や人口構成
3　①　健康寿命　②　がん　③　科学技術の発達　④　生活様式や労働形態
4　①　平均余命　②　脳卒中　③　医療機器の進歩　④　生活様式や労働形態

31　次は、「『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」（平成31年３月　文部科学省）「第４章　事故等発生時における心のケア　第１節　事故等発生時における心のケア」の一部です。下線部①～④の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.36

> （２）事故等発生時におけるストレス症状への対応
>
> ①　基本的な対応方法
>
> ○　ストレス症状を示す児童生徒等に対しては、①ふだんよりも声をかける回数を増やし、優しく穏やかな声掛けをするなど本人に安心感を与えることが大切である。
>
> ○　災害などの場合は、学級活動（ホームルーム活動）等において②心のケアに関する保健指導を実施する。
>
> ○　ストレス症状に、心理的退行現象と呼ばれる一時的な幼児返り（幼児のように母親に甘えるなど）が認められることがあるが、③必要以上に甘やかさないことが基本である。
>
> ○　症状から④ＡＳＤやＰＴＳＤが疑われる場合には、児童精神科医などの専門医を受診する必要がある。学校医等の関係者と相談の上、受診を勧め、専門医を紹介するなど適切な支援を行う。

1　①　○　②　×　③　×　④　○
2　①　×　②　○　③　×　④　○
3　①　×　②　○　③　○　④　×
4　①　○　②　○　③　×　④　×

32　次は、「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」（令和３年５月　環境省・文部科学省）に示されている「暑さ指数（ＷＢＧＴ）に応じた注意事項等」の一部です。（　①　）～（　④　）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.37

暑さ指数（WBGT）	湿球温度	乾球温度	注意すべき活動の目安	日常生活における注意事項	熱中症予防運動指針
31℃以上	27℃以上	35℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 （　①　）運動を中止する。 特に子どもの場合は中止すべき。
28～31℃	24～27℃	31～35℃		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒（激しい運動は中止） 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。（　②　）おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
25～28℃	21～24℃	28～31℃	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は（　③　）休息を取り入れる。	警戒（積極的に休憩） 熱中症の危険度が増すので積極的に休憩を取り適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では30分おきくらいに休憩をとる。
21～25℃	18～21℃	24～28℃	（　④　）生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意（積極的に水分補給） 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

1　①　特別の場合以外は　②　20分～30分　③　頻繁に長く　④　強い
2　①　特別の場合であっても　②　20分～30分　③　定期的に十分に　④　日常の
3　①　特別の場合であっても　②　10分～20分　③　頻繁に長く　④　日常の
4　①　特別の場合以外は　②　10分～20分　③　定期的に十分に　④　強い

33　次は、「学校心臓検診の実際（令和２年度改訂）」（令和３年３月　日本学校保健会）に示されている「Ⅴ　児童生徒の心臓病　A　児童生徒の心臓病」の一部です。下線部が**誤っているもの**を、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.38

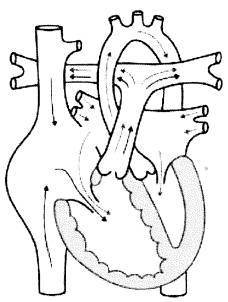
> 生まれつきの心臓病である先天性心疾患は、出生1,000人に対して①20～30人発生する。もっとも多いのは②心室中隔欠損症である。他、心房中隔欠損症、動脈管開存症、ファロー四徴症等も多く、これらの４疾患で、先天性心疾患全体の③80％以上を占めている。
>
> 生後、心臓に問題が生じる後天性心疾患も少なからずみられる。以前は④リウマチ性心臓病が多くみられたが、最近ではほとんど見られなくなった。

1　①　　2　②　　3　③　　4　④

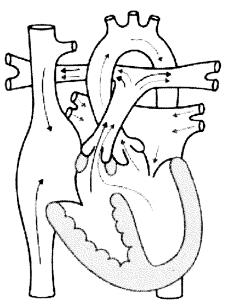
34　次は、「学校心臓検診の実際（令和２年度改訂）」（令和３年３月　日本学校保健会）の「Ⅴ　児童生徒の心臓病　C　学童期によくみられる心臓病」に示されている心房中隔欠損の解説です。解説の内容を表している図として最も適切なものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.39

> 右心房と左心房との間の仕切り（心房中隔）に孔があいているため、肺から左心房にかえってきた血液の一部が左心房から右心房に流れ、全身から戻ってきた血液とともに右心房・右心室に流れ、正常より多くの血液が肺血管に流れる。このため右心房・右心室の拡大が生じる病気である。

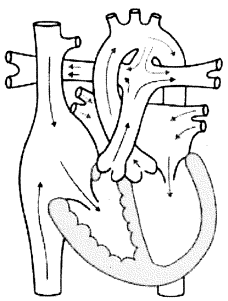
1



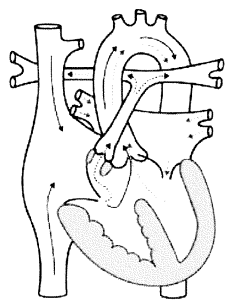
2



3



4



35　次は、「腎臓手帳　児童・生徒用　令和２年度改訂」（令和３年３月　日本学校保健会）に示されている「児童生徒の腎臓病」をまとめたものです。疾病の説明として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.40

	疾病	説明
1	尿路感染症	細菌などの病原体が膀胱や腎臓に侵入して炎症を起こす病気である。多くの場合、尿中に白血球が増えてくる。膀胱炎では、排尿痛、頻尿、残尿感といった症状を示し、腎盂腎炎では細菌が腎臓まで侵入し、発熱を伴う。
2	腎炎	急性糸球体腎炎は突然、血尿、浮腫（むくみ）、高血圧などがみられる病気で、溶連菌感染の後に発症したものは多くの場合、数か月で完全に治る。
3	無症候性血尿・無症候性蛋白尿	尿にだけ異常（血尿のみ、あるいは、蛋白尿のみ）が見られる状態で、多くの場合、薬物治療や食事・運動の制限は必要ない。自然に尿異常が消える場合もあるが、一部には慢性糸球体腎炎などによるものがある。
4	ネフローゼ症候群	強いむくみで見つかることが多い病気で、大量の蛋白尿が特徴的である。通常、入院してステロイドホルモン薬による治療を受けることが必要となる。再発を繰り返すことが多く、完全に治ることはまれである。

36　次は、「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（平成21年３月　文部科学省）に示されている「第６章　主な疾患等の解説　２　主な精神疾患等　(3)　てんかん、その他　①てんかん」をまとめたものです。(1)～(4)の内容の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。

No.41

(1)　てんかんの発作の症状は、意識喪失やけいれんに限らず様々なものが含まれる。
(2)　てんかん発作は、小脳の異常な神経活動によるものである。
(3)　てんかんは、50人に１人の割合でみられる。
(4)　てんかんは、乳幼児と高齢者に多くみられる。

1　(1) ○　(2) ×　(3) ×　(4) ○　　2　(1) ×　(2) ×　(3) ○　(4) ○
3　(1) ○　(2) ○　(3) ×　(4) ×　　4　(1) ×　(2) ○　(3) ○　(4) ×

37　「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引―令和３年度改訂―」（令和４年３月　日本学校保健会）に示されている内容として正しいものを、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.42

1　上腕骨近位骨端線離開は、投球によって肘関節の内側に負荷がかかり、内側上顆の骨化障害、裂離骨折や内側側副靱帯損傷を生じる。
2　オスグッド病は、橈骨粗面の骨端症である。遊離体を生じてしまうと、骨成熟後も痛みが遷延することがあり、手術を要することもある。
3　つき指は、指の関節が腫れた状態であり、ＲＩＣＥ処置を行うことで後遺症が残ることはない。
4　ねんざは、関節の靭帯、関節包等が損傷する状態で、骨折をおこすこともある。

38 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」（令和２年３月　日本学校保健会）の「第１章　総論　２．アレルギー疾患とその取組」に示されている内容として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.43

1　「アレルギー体質」の人は、花粉や食べ物など本来無害なものに対してIgE抗体を作ってしまう。
2　食物アレルギーは、突然起こることは無く、初めて起こる時は前兆があるので注意する。
3　アレルギー疾患になりやすい体質は簡単に変わることはない。
4　適切な治療を受けることにより、ほとんどの児童生徒がアレルギーのない児童生徒と同じような生活を送れるように症状をコントロールすることができる。

39 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」（令和２年３月　日本学校保健会）の「第２章　疾患各論　３．アトピー性皮膚炎」に示されている内容として**適切でないもの**を、次の１～４の中から１つ選びなさい。 No.44

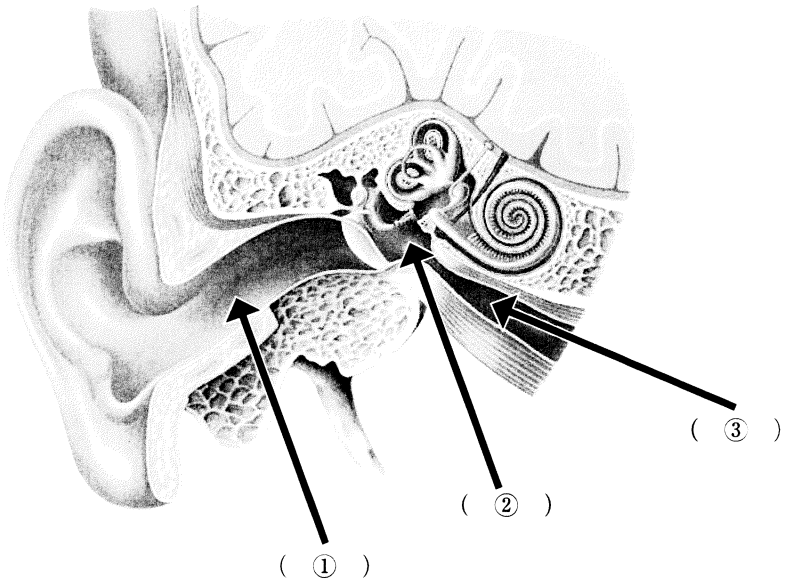
1　アトピー性皮膚炎は、かゆみのある湿疹がからだの広い範囲に現れ、良くなったり悪くなったりしながら長く続く病気である。
2　アトピー性皮膚炎に対する治療は①薬物療法、②悪化因子への対策の２つのみである。
3　アトピー性皮膚炎の人の皮膚は、乾燥しやすく、刺激に対し敏感に反応しやすいのが特徴である。
4　アトピー性皮膚炎は、生まれながらの体質に、様々な環境条件が重なって発症する。

40　次は、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（平成27年８月　日本学校保健会）の「第２章　健康診断時に注意すべき疾病及び異常」に示されている「４　皮膚科関連」をまとめたものです。（　①　）～（　③　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.45

感染症	説明
（　①　）	多くは黄色ブドウ球菌による感染症で、水疱やびらんを形成する。
（　②　）	ヒゼンダニによる感染症で、強いかゆみを伴う。家族に同様の症状があり指間や陰部に丘疹を認めることが多い。
（　③　）	ヒト乳頭腫ウイルスによる感染症で、手足の微小な擦過傷に感染し、結節を作る。

1　①　伝染性軟属腫　②　疥癬　③　尋常性痤瘡　2　①　伝染性膿痂疹　②　乾癬　③　尋常性痤瘡
3　①　伝染性軟属腫　②　乾癬　③　尋常性疣贅　4　①　伝染性膿痂疹　②　疥癬　③　尋常性疣贅

41　次の図は、ヒトの耳の内部を模式的に示したものです。（　①　）～（　③　）の名称として正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.46



1　①　前庭　②　耳小骨　③　耳管　　2　①　外耳道　②　鼓室　③　耳管
3　①　前庭　②　鼓室　③　耳介　　4　①　外耳道　②　耳小骨　③　耳介

42　次は、「学校の管理下の災害［令和４年版］」（令和４年12月　日本スポーツ振興センター）の「第三編　基本統計　Ⅰ　概況　１　総括　(1)　小学校」をまとめたものです。（　①　）、（　②　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.47

場合別	「（　①　）」に最も多く発生し、全体の約半数を占めている。
場所別	「運動場・校庭」が最も多く、次いで「体育館・屋内運動場」、「教室」が多い。
運動指導内容（実施種目）別	「（　②　）」が他の種目より格段に多い。次いで「バスケットボール」、「マット運動」「ドッジボール」での発生が多い。

1　①　休憩時間　②　跳箱　　2　①　体育活動時　②　跳箱
3　①　休憩時間　②　サッカー　　4　①　体育活動時　②　サッカー

43　次は、「学校の管理下の災害［令和４年版］」（令和４年12月　日本スポーツ振興センター）の「第三編　基本統計　Ⅰ　概況　２　分類別割合　（２）種類別」に示されている図です。①、②に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.48

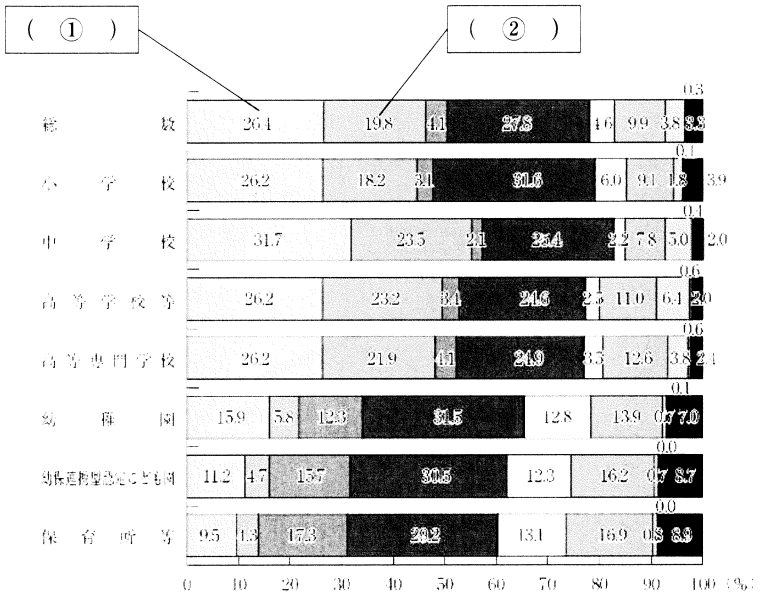


図　種類別発生割合

※小数点第一位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。

1　①　熱中症　②　捻挫　　2　①　熱中症　②　脱臼

3　①　骨折　②　捻挫　　4　①　骨折　②　脱臼

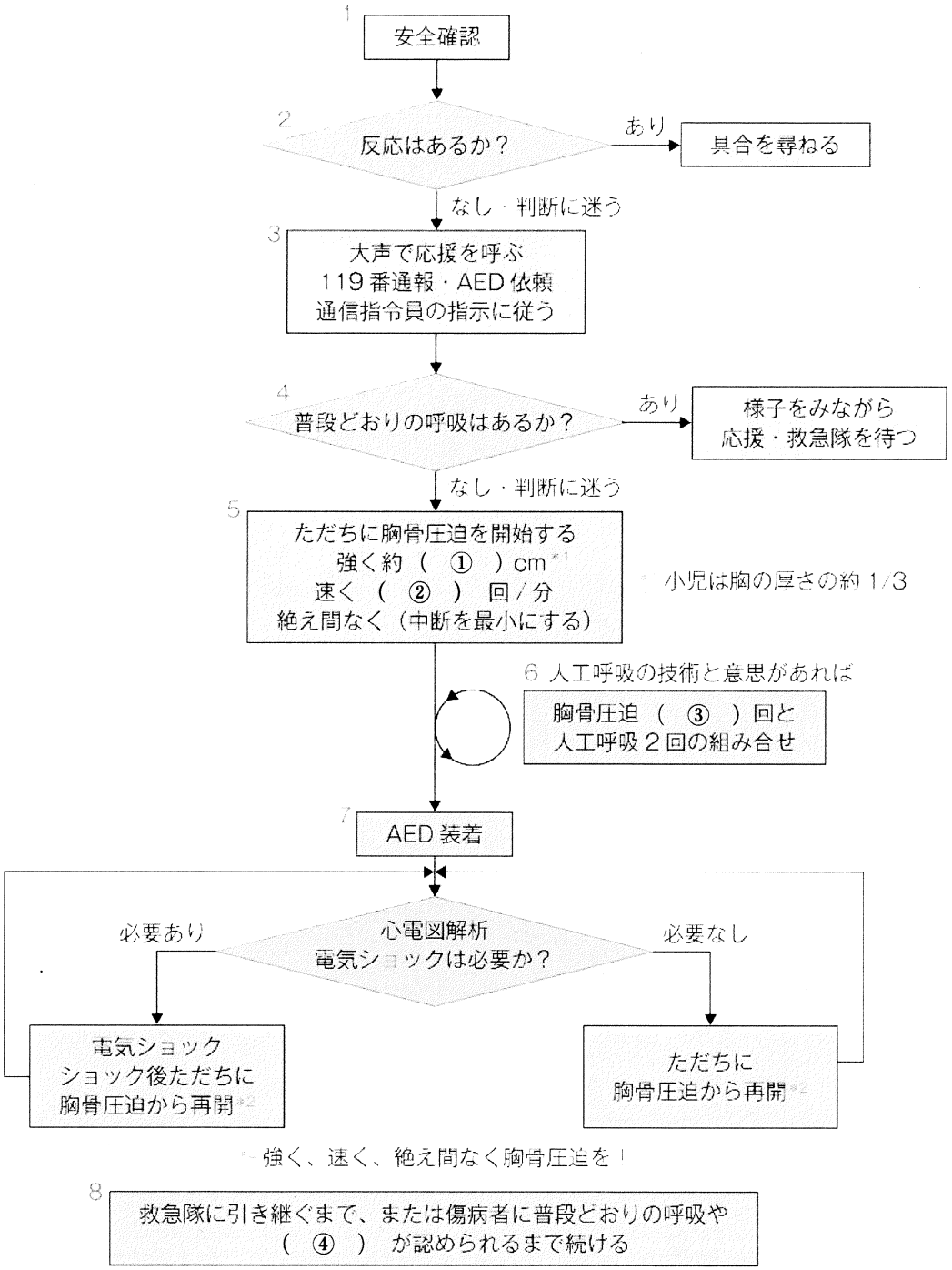
44　次は、「学校の管理下の災害［令和４年版］」（令和４年12月　日本スポーツ振興センター）の「第二編　死亡・障害事例　Ⅱ　学校の管理下における障害見舞金の状況　障害別の発生件数」に示されている表から、合計数の多い４項目を抜き出したものです。（　①　）、（　②　）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.49

	小学校	中学校	高等学校等・高等専門学校	特別支援学校			幼稚園・幼連・保育所等	合計
				小	中	高		
外貌・露出部分の醜状障害	38	17	12	0	0	3	12	82
（　①　）	14	13	35	0	1	0	1	64
精神・神経障害	8	30	17	1	0	0	1	57
（　②　）	4	11	28	0	0	0	0	43

1　①　視力・眼球運動障害　②　手指切断・機能障害　　2　①　聴力障害　②　手指切断・機能障害

3　①　視力・眼球運動障害　②　歯牙障害　　4　①　聴力障害　②　歯牙障害

45　次は、「『改訂６版　救急蘇生法の指針2020市民用』（日本救急医療財団　心肺蘇生法委員会）　Ⅴ　一次救命処置　１　心肺蘇生の手順　主に市民が行う一次救命処置の手順」の図です。（　①　）～（　④　）に入る数字や語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～４の中から１つ選びなさい。 No.50



（JRC蘇生ガイドライン2020より引用）

1	①	10	②	100～120	③	30	④　脈拍
2	①	5	②	130～150	③	20	④　目的のある仕草
3	①	5	②	100～120	③	30	④　目的のある仕草
4	①	10	②	130～150	③	20	④　脈拍

令和6年度埼玉県公立学校教員採用選考(小・中学校等)試験　正答・配点

教科等(　養護　)

問題番号	正答	配点	問題番号	正答	配点	問題番号	正答	配点
No. 1	4	2	No. 18	2	2	No. 35	3	2
No. 2	3	2	No. 19	1	2	No. 36	2	2
No. 3	3	2	No. 20	1	2	No. 37	4	2
No. 4	4	2	No. 21	2	2	No. 38	1	2
No. 5	1	2	No. 22	3	2	No. 39	1	2
No. 6	3	2	No. 23	3	2	No. 40	4	2
No. 7	2	2	No. 24	2	2	No. 41	1	2
No. 8	1	2	No. 25	2	2	No. 42	4	2
No. 9	3	2	No. 26	4	2	No. 43	2	2
No. 10	4	2	No. 27	1	2	No. 44	2	2
No. 11	2	2	No. 28	2	2	No. 45	4	2
No. 12	4	2	No. 29	3	2	No. 46	2	2
No. 13	1	2	No. 30	1	2	No. 47	1	2
No. 14	4	2	No. 31	2	2	No. 48	3	2
No. 15	1	2	No. 32	4	2	No. 49	3	2
No. 16	2	2	No. 33	3	2	No. 50	3	2
No. 17	4	2	No. 34	4	2			